令和4年度 大企業等人材による新規事業創造促進事業 (創造性リカレント教育を通じた新規事業創造促進事業)

独創的アイディア創出人材育成プログラム 価値観基盤研修

1. イントロダクション:価値観基盤とは

応用スキル

本研修プログラムの位置づけ(創発人材に求められるスキル)

価値観基盤を強化する為には、答えの1つに決まらない問題について考え、自分の解のベースにある価値観・思考を認識することが必要。

アイディアの創発力

アイディアのひらめきを生む能力を培う研修

- 1. 感性基盤研修
- 先入観に囚われない多面的な観察力
- 観察・描写を通じて、発見・疑問を得る力

2. 情報基盤研修

• 情報に対する感情や自分との関係性、 情報間のつながりを整理できる力

3. 価値観基盤研修

• 自身の価値観を認識し、他人の価値観との違いや距離を認識できる力

「ひらめき」を事業企画 として落とし込む

おいマインドセット常識・偏見に囚われの醸成

アイディアをひらめく

アイディアの推進力

事業を企画・推進していく能力を培う研修

4.手法基盤研修

- 相手の状況を踏まえ、価値を訴求できる力
- 信頼関係と対話に基づいた提案力

5.経験基盤研修

- 物事を肯定的に捉える思考力
- 自発的に事業を推進していく力

「コミュニケーション」と「マインドセット」 を通じて、企画を推進

アイディアの具体化力

具体的な事業をデザインする能力を学ぶ研修

オンライン公開:新規事業創出フレームワーク研修

- アイディアを具体的な事業として整理できる力
- ビジネスモデルとして描ける力
- 他者の納得を引き出す企画書の作成能力



具体的な事業企画書作成ワーク

市場性分析

ビジネスモデル

事業計画と アクションプラン

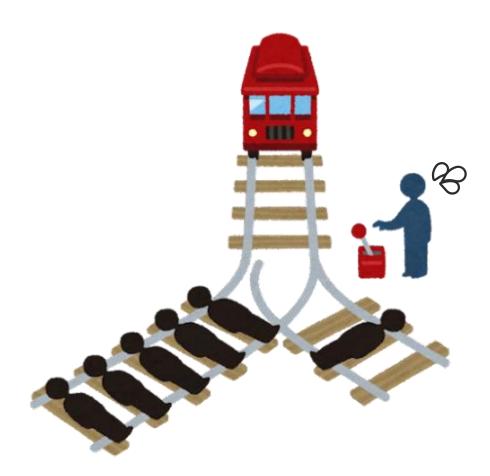
価値観基盤で使われる理論の例

価値観基盤では、必要に応じて既存の概念を利用して個人の思考を解釈、発展させていく

- 1. 【数量】 功利主義(最大数の最大幸福) VS 義務論(人は手段ではなく、目的である)
- 2. 【手段】 二重結果論(道徳的行為が偶然悪い結果につながるのは良いが、結果のために悪い行為をしてはいけない)
- 3. 【対象】 利他主義(他者の利益優先) ← 健全? 病的?
- 4. 【止揚】 弁証法。正(賛成)・反(反対)・合(正反の対立と矛盾を解消し、両方の本質を 含んだ考え)の止揚過程(アウフヘーベン)をたどる推論方法

道徳的ジレンマ課題「トロッコ問題」

• 線路上を走るトロッコが制御不能になり、そのまま進むと5人の作業員が確実に死ぬ、5人を救うためにポイント(分岐点)を切り替えると1人の作業員が確実に死ぬという状況下で、線路の分岐点に立つ人物(自分)はどう行動すべきかを問うもの。



(参考) 参考理論(数量·手段)

「トロッコ問題」などでは提示条件や暗黙条件により、個人は功利主義と義務論を行き来する事がある。ちなみに、「トロッコ問題」は哲学者フィリッパ・フットからの命題。

数量

- 功利主義(utilitarianism) ジェレミ・ベンサム
- 国家社会主義や民主主義の基本理念は功利主義
- 帰結主義・・行為の善悪は行為の結果を重視
- 幸福主義・・帰結(結果)に人々の幸福を重視
- 最大多数の最大幸福・・万人の利益が善である
- 公平性・・1人を1人以上に数えない

例)千人の貴族のために10万人の市民が犠牲になる事は道 徳的に正しくない。

- 義務論 (Deontology) イマニュエル・カント
- 義務論は意思と動機を評価し、 目的と結果を評価する功利主義と立場が異なる
- 道徳的判断基準は「定言命法」で、自律的に行った行為 のみが道徳的である。
- ・ 普遍化可能の原則・・殺人やウソはダメ
- 人間性の原則・・自分や他人の手段利用はダメ
- 自律の原則・・主体的に正義を守る(規則依存NG)

手段

- 二重結果論(double effect) トマス・アクィナス
- カトリックの伝統的な考え
- ある行為の帰結を「意図された帰結」と「予見される帰結」に 区別し、行為者が責任を持つのは、前者の「意図された帰 結」のみであり、副作用とも言える「予見された帰結」につい ては責任を問わない。
- 「道徳的に良い行為がたまたま悪い結果を生むのは仕方がないが、良い結果を得るためにわざわざ悪い行動をとるべきではない」

例)医師は治癒する可能性の高い患者だけを選別して治療し、 治療困難な患者は放置しようと決断する。選別されなかった患 者たちが死亡してしまう悪い結果が生じてくるのを予見してはいる が、意図してはいない。

例)カトリックでは妊娠中絶に対して、「妊娠中の女性に子宮ガンが見つかり、子宮を切除しなければ女性の命が脅かされる場合は、結果胎児の命が奪われても手術は可能。それは意図したものではなく、副次的な結果である」

(参考) 参考理論(対象・止揚)

利他主義では、個人より他者の利益を優先する。しかし他者 2 択の 1 択に家族が含まれたら? 価値観の択一選択はできないため、本質の議論から高次の概念へ止揚を試みる

対象

- 利他主義(altruism)
- 自分の利益よりも、他者の利益を優先する
- 他のことがすべて同じなら、より苦しみが少なくなり幸福な世界の方が、苦しみが多く幸福が少ない世界よりいい

(健全?病的? Byニーチェ)

いくら利他主義でも、家族が1人で待機線にいるなら、5 人を犠牲にしても家族をすくおうとするほうが健全

(参考) 適応度に与える効果 ハミルトン

- 1. 利己的行動・・行為者(利益)、被行為者(コスト)
- 2. 利他的行動・・行為者(コスト)、被行為者(利益)
- 3. 相利行動··行為者(利益)、被行為者(利益)
- 4. いじわる行動・・行為者(コスト)、被行為者(不利益)

止揚

- 弁証法 (dialectic) ヘーゲル、マルクス
- ・ モノ(事物)やコト(命題)が「否定」を通じて、新たな・より高次のモノやコトへと再生成されるプロセス
- 対立しあう二物の関係を、1つ上の次元へと 引き上げることが「止揚(アウフへーベン)」
- 「正」「反」を調停するものとして「より良いもの(合)」が現れる
- 例)「少子高齢化が進行している今の日本では、若者の政治 参加を促すことが大切だ!
- 正: 少子高齢化が進行している今の日本では、 若者の政治参加を促すことが大切だ。
- 反:若者は社会経験に乏しいため、社会における 政治的利害の対立を正しく導くことができない。
- 合:若者の社会意識を高めるように教育制度を整える ことで、社会を健全化していくことが急務である。

研修内容(本日の進め方)

- ・ 本日は2つの社会課題における「答えのないテーマ」について持論を形成し、共有・議論します
- 異なる価値観をグループワークを通じて議論し、**今まで自分になかった気づきを得ることの重要性**を学びます

Phase.1 ✓ 社会的に論争となると予想されるテーマをご提示させていただきます。 5分 持論の形成 それに対して、貴方ならどちらの行動を選ぶか。貴方ならこの意見に (個人ワーク) 賛成するか、反対するかを考えて、持論をまとめてください 30 分× Phase.2 ✓ 各人が「自分ならこの意見に賛成するか、反対するか」などを理由を 2 持論発表・議論・傾聴 20分 含めて、かつ簡潔に表明した後で、互いに質疑応答する (グループワーク) 他人の意見を聞いて持論を修正したくなったか、その感覚が生まれ Phase.3 5分 たかを確認する。そうした事例があれば発言して貰う。 持論の再確認 個:1分、グ:4分 (個人+グループワーク) 新たな価値観を見いだす旅にでるきっかけを掴む。 グループワークの議論の内容や価値観の対立、質疑応答内容、持 Phase.4 論の再確認等、クラス内でシェアをし、自身の価値観形成に気づき 20分 クラス内で共有 を与える 価値観基盤のまとめ及び習慣化に向けて日常的に価値観基盤を 10分 習慣化に向けて 強化する方法について理解する

グループワークの進め方とゴール

- 本日のグループワークは答えを出すことが重要なのではなく、異なる価値観の存在を認識し、その対立点やそれらの背景や根底の価値観を理解することの重要性を学ぶことです。
- その議論を通じて、「自身の価値観が明確になった」「新たな価値観を知れた」「異なる価値観により自分の価値観が少し変わった」と思うこと、そしてその大切さを知ることがゴールです。



違いを知り、他者の価値観により自身を見つめなおし、自身の価値観の再認識・修正・追加の重要性を知る

2. ディスカッションテーマ①

テーマ①:「政府による若者の飲酒奨励」

このテーマについて、後のページのフォーマットを用いて考えてみましょう。

参考記事の 要約

- 若者は親の世代に比べてお酒を飲まなくなっている。その結果、国の酒税収入が減少。
- 国税庁が酒離れの流れを変えるアイディアをもとめ、全国規模のコンテストを実施。
- 「サケビバ!」と名付けられたこのコンテストは、20~39歳を対象に、同世代のアルコール需要を 喚起する妙案を募集している。日本酒、焼酎、ウイスキー、ビール、ワインなど、種類は問わない。

主に議論されているポイント

● 不健康な習慣を助長すると批判する人がいる一方、一風変わったアイディアをインターネットで公表する人も。

立場の表明 (例)

- 飲酒する人から税金を取るのはいいが、国が不健康な習慣を促進することはやりすぎではないか。
- 酒税は法律で認められれているのだから、産業を振興したり、税収を確保するために、アイディアを募ることには問題がない。
- その他

参考記事: 「日本の若者よ、もっと酒を飲もう 国が税収増狙い奨励」 (BBC NEWS JAPAN 2022年8月19日)

個人ワーク&グループワーク

ワークシート①:あなたの考えを表明・確認しましょう

Phase.1 持論の形成

5分

あなたの考え

「国が若者の飲酒促進のためのアイディアを募集する」という考えに

- ①強く賛同する やや賛同する やや賛同できない 全く賛同できない
- ②その選択の理由 (気にしたポイント)

Phase.2 持論発表・議論・傾聴(グループワーク)

20分

議論を経て、あなたの考えは

- ③変化した ほとんど変化しなかった
- 4 (変化した場合) どのように変化したか

Phase.3-1 持論の再確認 1分

「国が若者の飲酒促進のためのアイディアを募集する」という考えに 強く賛同する やや賛同する やや賛同できない 全く賛同できない

⑤議論で特に影響を受けた・自分の考えを変えた発言、逆に自分の従来の立場をより明確にした発言などに関して振り返ってください(自由記述)

Phase.3-2 持論の再確認 (グループワーク)

4分

3. ディスカッションテーマ②

テーマ②:「キャリア形成のための代理出産」

このテーマについて、後のページのフォーマットを用いて考えてみましょう

参考記事の 要約

- 日本では代理出産は認められていない
- 医学的な理由によって、妊娠出産が難しい人たちにとっては必要とされる手段である
- 貧困ビジネス化している側面、また生まれた子に障害があると引き取らない場合があるといったネガティブな面も
- キャリア形成のために代理出産を利用するという話題を取り上げた対談記事が「炎上」した

主に議論されているポイント

● キャリア形成のために、代理出産を利用してよいのか

立場の表明 (例)

- 「身体の道具化」自体は、既に移植医療で行われており、代理出産だけの問題ではない
- 少子化対策として有効なのではないか
- 自らの経済利得のために他者の身体を道具として利用すべきではない
- 問題は代理出産ではなく男女格差にある

参考記事:「需要増す代理出産、キャリアのための選択は妥当? "同意の上"でも家族は築ける?」 (ABEMA Prime 2020/9/16) 個人ワーク&グループワーク

ワークシート①: あなたの考えを表明・確認しましょう

Phase.1 持論の形成

5分

あなたの考え

「キャリア形成のために代理出産を利用する」という考えに

- ①強く賛同する やや賛同する やや賛同できない 全く賛同できない
- ②その選択の理由 (気にしたポイント)

Phase.2 持論発表・議論・傾聴(グループワーク)

20分

議論を経て、あなたの考えは

- ③変化した ほとんど変化しなかった
- ④ (変化した場合) どのように変化したか

Phase.3-1 持論の再確認 1分

「<mark>キャリア形成のために代理出産を利用する</mark>」という考えに 強く賛同する やや賛同する やや賛同できない 全く賛同できない

⑤議論で特に影響を受けた・自分の考えを変えた発言、逆に自分の従来の立場をより明確にした発言などに関して振り返ってください(自由記述)

Phase.3-2 持論の再確認 (グループワーク)

4分

4. ディスカッションのまとめ

各グループの代表者が、グループでの議論や、自分が印象に残ったことなどを全体にシェア 皆さん、いかがですか?新たな発見はできましたか?

どのように意見や立場が 分かれましたか? メンバーはお互いの違いを どうとらえましたか? 議論で印象に残ったのはどのようなことですか?



5. おわりに:習慣化に向けて

価値観基盤の習慣化

・ 命題に対して、マインドワンダリングを促すもの。まずはアイディアノートで思考。短時間で答えを出すのが目的ではなく、マインドワンダリングを経験し、自分の価値観を明らかにすることが大切。



- 習慣化ノートフォーマット
- 1. 命題に対する個人の意見・立場に対し、アイディアノートを 使って、価値観を深掘りする

■ 書き方

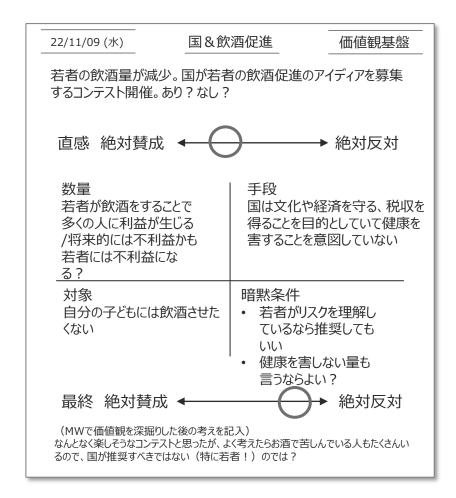
- 1. 日付(曜日)・タイトル・基盤名をつける
- 2. 命題を簡潔な文にしてメモする(思い出すために)
- 3. 最初に直感で、意見・立場の位置づけを○する
- 4. 意見・立場の価値観の背景を、4つのカテゴリで深掘り
- 5. 最後に改めて、意見・立場の位置づけを○する
- 6. 自分が思ったことを、その下に記入する

■ ポイント

- 1. 最初に「命題メモ」と「直感意見」と枠を作り、一旦終了。
- 2. ふと思いついたら(マインドワンダリング)、メモする。

習慣化ノートの例:「国が若者の飲酒促進のためのアイディアを募集する」

- 報道などで気になったことについて、様々な角度から考えてみましょう。
- 同じテーマでも、自分の経験が変化すると、考え方が変わることもあります。





ご清聴ありがとうございました。

経済産業省 株式会社日本総合研究所